

「FiT チューンナップ」今シーズンからの新しい滑走面仕上げ方法
ベースクリーニング加工、略して「BC 加工」を棟田達典氏が開発した

10 年以上前から考えていたという、滑走面のいわゆるケバ=指のささくれのような現象が、チューンナップ後の板にはあった

WAX を入れて仕上げても、それは残った

今までチューンナップ後すぐに乗った場合、回りにくい、ひっかかる感覚があった方が多かったと思うが、それは最初だからエッジが立っているからだよ、そのうち良くなるよ、で片づけられていた。

それがケバによる抵抗だとはわかっていたが、取り除く方法を見つけれずにいた。

試行錯誤の末 見つけた。

その方法は硬い WAX を容易に浸透させる方法を見つけ...おっとこれ以上はしゃべれない。

この BC 加工により最初の 1 本目の滑りから、スムーズにターンが出来、特筆すべきは低速でのスムーズな深回りロングターン、人工雪でのひっかかり・つんのめり等が無くなった。

これは、白馬・小谷在住の元デモンストレーターや、現役レーサー達も開発に携わり、幾度となくテスターを務めてくれた際に言っていたことから、信憑性は高い。

では一般のスキーヤー・スノーボーダーがどのようにつきあっていけばいいのか。

棟田氏いわく、年に一度は「BC 加工」を入れるだけで効果があるという。

特に普段から自分で WAX を入れている人は、「BC 加工」後の WAX の浸透の度合いが違うことを体感できるはずだという。

ぜひ試してみてください。

BC 加工料金 通常のフルチューンナップ+1000 円

そして棟田さんは、こんな発想と器用さも持ち合わせている。

岳人は早速この夏から使っています。

手作りの限定品となります。ご興味のある方はフロントにお問い合わせくださいませ。

そして、今シーズンも秋から年末にかけての忙しい時期に、FiT のスタッフに加わっている、棟田氏の長男=棟田裕也さんことむねゆうさん。

Youtube で MAAZU (スキーパフォーマンス作品、かなり面白いです) を DVD で発売するなど、その世界ではメジャーで、試写会などの活動もされています。

FiT-TUNE はこれからも目がはなせない!

